



TITLE:

# CD-ROMに関するアンケート調査結果について

AUTHOR(S):

---

CITATION:

CD-ROMに関するアンケート調査結果について. 静脩 1991, 27(3): 8-9

ISSUE DATE:

1991-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37097>

RIGHT:

## CD-ROM に関するアンケート調査結果について

第4回国立大学図書館協議会シンポジウム（メ  
インテーマ：CD-ROM を中心とした新しい図書  
館資料（ニューメディア）の取り扱いと利用上  
の諸問題）運営のため、東西両当番館（横浜国立  
大学附属図書館・京都大学附属図書館）から全国  
国立大学附属図書館を対象に「CD-ROM 等の整  
備状況に関するアンケート」調査を行った。アン  
ケートの目的・項目・集計結果の概要を報告しま  
す。

調査目的：中央館および分館の CD-ROM 及び  
関連機器の設置状況・利用状況等の  
調査

調査時点：平成2年10月

調査対象：全国国立大学附属図書館（97大学）

回収率：100%

設置状況：設置大学 54大学 設置率：55.7%

1. 対応ハード（パソコン） 111台設置

端末機種別

PC-9801RX 系タイプ（NEC）が23台

Quarter-L 系タイプ（SONY）が19台

その他 69台

端末製造会社別

NEC 62台 55.9%

2. 対応ハード（CD-ドライブ）93台設置

PC-CD 102（NEC） 28台

CDR-1003S（Hitachi） 19台

Quarter-L（SONY） 15台

その他 41台

3. プリンターの種類 88台設置

HG 800（ESPON） 10台

PR 201G（NEC） 8台

その他 70台

所蔵 CD-ROM 出版物

純タイトル数

国内出版物 28タイトル 47.5%

海外出版物 31タイトル 52.5%

計 59タイトル

延べタイトル数

国内出版物 157タイトル 65.4%

海外出版物 83タイトル 34.6%

計 240タイトル

国内 CD-ROM では、学術雑誌総合目録（24）、  
CD-WORD（18）、広辞苑（18）、J-BISK（16）、  
海外 CD-ROM では MEDLINE（23）、EXCERPTA  
MEDICA（9）、OED（6）が多く所蔵されている。  
（（ ）内は所蔵数）

利用状況

利用時間帯（上位4位まで）

平日 52ヵ所で利用可能

9:00~17:00 18（34.6%）

9:00~20:00 12（23.1%）

9:00~19:00 3

9:00~21:00 3

土曜日 50ヵ所で利用可能

9:00~12:00 12（24.0%）

9:00~12:30 8（16.0%）

9:00~16:30 8

9:00~17:00 7

利用手続きの有無

必要 31（59.6%） 不必要 21（40.4%）

利用時間の制限

制限あり10（19.2%）制限なし42（80.8%）

制限している場合の利用可能時間数

30分以内 7（70%） 1時間以内 3（30%）

利用者マニュアルの有無

あり 45（86.5%） なし 7（13.5%）

自館作成のマニュアルの有無

あり 35（67.3%） なし 17（32.7%）

プリンターの利用制限等

条件付き制限なし 27（51.9%）

利用統計の実施の有無

実施 36（69.2%） 未実施 26（23.4%）

利用者用・業務用の別

利用者用 76(68.5%) 業務用 26(23.4%)  
兼用 8( 7.2%) 未定 1( 0.9%)  
その他  
設備の充実等、今後の計画等についてつぎの  
意見がよせられた。

機種を増設、CDソフトの種類の実、館  
員教育の実施、利用者マニュアルの整備、  
学内 LAN によるオンライン検索システム  
を実施予定

以上

## 平成2年度 目録システム（地域）講習会を開催

学術情報センターの目録システムに精通し、目録・所在情報サービスの一層の促進を図るため、同センターと本学附属図書館との共催で近畿北部地区（滋賀・京都・奈良）の大学図書館目録担当者を対象に、下記のとおりに3回に分けて開催しました。

### 記

期 間：第1日目 ： 平成2年8月28日

第2日目～： 平成2年9月4日～7日、9月18日～21日、10月2日～5日

会 場：京都大学附属図書館地域共同利用室

受講者：国公立大学図書館から 29名

なお、第1日目には、学術情報センターの講師から「目録システム概論」、「目録情報の基準」等についての講義があり、第2日目以降は本学図書館職員講師による検索実習、登録実習等が行われた。

以上

## 第4回国立大学図書館協議会シンポジウム（西地区）開催される

国立大学図書館協議会は、平成2年6月に熊本で第37回総会を開き、その中で「大学図書館とニューメディア：CD-ROMを中心に」をテーマに研究集会を行いました。その趣旨を周知させ、国立大学図書館における適切な対応の方法を検討するため、シンポジウムを東西二地区の会場で開催することとし、西地区では平成2年11月1日（木）と2日（金）の2日間、本館AVホールを会場として、41大学、46名が参加して、以下の日程で開催されました。

第1日目：11月1日（木）

講演 「大学図書館のネットワーク化とニューメディア」

京都大学教育学部助教授 原田 勝 氏

講演 「CD-ROMの構造と利用上の諸問題」

京都大学大型計算機センター教授 星野 聰 氏

第2日目：11月2日（金）

「利用できるCD-ROM資料について」

コメンテーター：山中 康行 氏（京都大学）

討議 「各種CD-ROMの利用方法」

第1会場：「Excerpta Medicaの利用方法」